

文化芸術に関するヒアリング調査概要

1 ヒアリング調査の目的

町の文化芸術施策における連携等が不十分であった学校及び社会福祉施設においてヒアリング調査を実施し、社会包摂に対する文化芸術施策の展開に資することを目的とする。

学校・社会福祉施設における

- 1 必要課題の洗い出し
- 2 要求課題の洗い出し

- ・文化芸術施策の展開
- ・アウトリーチ活動の現状把握及びニーズ把握

2 調査方法

単なるアンケート調査とはせず、事前に調査項目を送付し、担当者が学校や施設を訪問した上で、調査項目の内容についてヒアリングを実施。また、学校や施設から直接聴くことにより、アンケート項目外の課題やニーズを見つける。

アンケート項目は、現時点での仮説に過ぎない

ヒアリング実施

要求課題
必要課題
ニーズ
明確化

3 調査対象

(1) 学校

中学校	2校
小学校	5校

- ・文化芸術体験等の現状
- ・文化芸術体験等のニーズ
- ・文化芸術体験等における課題
(学校・児童生徒)

定例校長会において、担当課からこれまでの経緯、ヒアリング調査の趣旨等についての説明を実施。回答は、学校における文化芸術活動等について総合的に回答できる教員が行う。

(2) 社会福祉施設

高齢者福祉施設	5施設
障がい者福祉施設	3施設

- ・文化芸術体験等の現状や入所者への効果
- ・文化芸術体験等のニーズ
- ・文化芸術体験等における課題
(施設・人員・入所者)

各施設宛に依頼文書等を送付。新型コロナウイルス感染症対策により、外部からの訪問を制限している施設もあることから、個別に対応を行う。